



# 保南の風にのせて

<http://www.kusuna-e.edu.city.hiroshima.jp>

校長 杉山幸子

楠那小だより

臨時号 8号

平成24年

10月19日発行

## 一日一生 思いやりのある強い心を育てる



「昼顔」 星野富弘 作

「今与えられている体・心・頭に感謝し、一日を精一杯生き、周りの人への『ありがとう』の気持ちを持ち続けたいものです。『克己』強い心を持つことも忘れないください。」

10月9日（火）から後期が始まりました。後期は6年生にとって小学校最後の学期103日間です。1年生から5年生は次の学年に進級するための勉強も体力づくりも充実させる大切な学期です。後期始業式では、一日一日を大切に過ごしてほしいという思いから「一日一生」という言葉を紹介しました。自分の弱い心に勝つ強い心「克己（こっき）」という言葉とともに、自分の体・心・頭に感謝し、思いやりのある強い心をもつ楠那の子に育っていつてくれるよう教職員一同気持ちを新たにしました。

### 読書の秋 バーコードで貸し借り！

楠那小学校では、毎週水曜日図書ボランティア「そらいろのたね」の方が図書室に集まって来られます。子どもたちのために本の整理をしたり、読み聞かせの準備をしたりするためです。おかげさまで、図書室の環境が整えられ、9月からバーコードによる本の貸し出しがスタートしました。

私たちにとって一人でも多くの子どもが本に手を伸ばす機会が増えることが何よりの幸せです。本の中の世界を想像することで、様々な世界を体験できます。それに、二千年前の人とも、五千キロ離れた人とも友達になれるということ、時間と空間を超えた体験ができるということなのです。「自立の第一歩は、本を自分で選ぶこと」と言われています。自分が読みたい本を選ぶことは、自分の世界を広げる第一歩なのです。

時には、親子で図書館や本屋に行くのも良いかも知れません。色々な本があることがわかること、その中から読みたい本を選ぶという力も育つこと、本を選んでいる本好きな人の姿を見せることができます。

想像力は人間がもっているすばらしい能力です。それは、「思いやり」「やさしさ」の心を育てるためにも大変大切な要素です。相手の気持ちや状況が想像できるということは、相手の立場になって考えることができる子どもを育てることができるということです。また、学力の中でも大切な要素です。どの子にも「自ら本に手を伸ばす子どもに育ってほしい」と願っています。



図書ボランティアによる読み聞かせと本の修繕



「ありがとうございます」





## 53人でやり切った！野外活動 時間を守り、最後までやり切り、想像力を働かせた2泊3日



一日目は、安芸小富士登山です。どの子も張り切って登山にチャレンジしました。頂上での見晴らしがとてもよく、すがすがしかったです。大和先生のタオルを絞ると汗が「ジャーッ」と出てきたそうですから、登りの大変さを感じました。

二日目。みんな元気に朝を迎えました。野外炊飯の日です。班で協力してご飯を炊き、すき焼きを作りました。仕事を分担し、手際よくできたので先生に誉められました。更に片付けで協力体制を発揮し、どの班も一回で「合格！」をもらったそうです。素晴らしいことです。

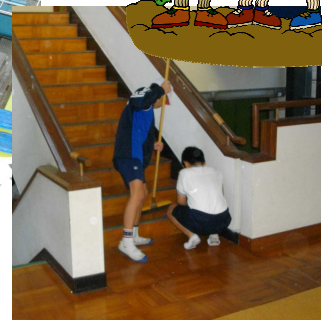


かまどの片づけ

午後のクラフトでは、竹のコップ作りをしました。一本の竹からコップを作るの大変です。班での協力が欠かせません。竹を押さえる人、のこを引く人と役割を交代しながら仕上げていきました。思い思いのコップに仕上げていました。手作りコップでお茶を飲むのも良いですね。夜のキャンプファイヤーはエールマスターの来栖先生のもと「歌えっ！叫べっ！盛り上がりれっ！」燃え上がる炎を囲んで、各班の出し物と歌で53人の友情を確かめ合った熱いひとときでした。

三日目は、秋晴れのもとカヌー体験。自然の家の先生から多くのことを教わりました。

帰るときは「来たときよりも美しく」



自分たちの使ったシーツをたたんで、部屋の掃除をしました。シーツは一人ではたたみません。協力して端と端を合わせていました。力を合わせることを実感できる貴重な時間でした。掃除も完璧にできました。宿泊体験を通して、同じ釜の飯を食べた仲間の温かさを肌で感じたことと思います。時間を意識しながら協力しなければならないこと、力を合わせればどんなことでも早くできることなど、心をひとまわり大きく成長させた二泊三日でした。